

非常時（地震）における防災行動（名古屋市バドミントン協会）

1. 目的 非常時（地震）における試合会場での防災行動を知る。
2. 日時 2026年3月1日（日） 競技説明後、短時間でおこなう。（10分間程度）
3. 内容 今回名古屋市バドミントン協会は名古屋市役所スポーツ市民局がおこなう陸前高田市との交流行事に選手を派遣した。その中で、東北地方太平洋沖地震に被災した状況やその後の防災について学びました。それを次世代に伝え、南海トラフ大地震が起こった時に適切に対処できるような能力を身につけさせる一つの機会となることを望みたい。
具体的には、緊急地震速報を放送で流し、自分の身の安全を確保する行動「シェイクアウト行動」や落下物を避ける行動をとる。また、そのような非常時（地震）があった時の試合でのルールなども知る。
4. 方法
 - ① 競技説明後、陸前高田市派遣行事についての件を話す（学んだことなど）
 - ② 注意事項(別紙)を掲示し、本日緊急地震速報の訓練を行うこと、シェイクアウト行動のやり方について伝達する。
 - ③ 訓練用の緊急地震速報の放送を入れる。
 - ④ それぞれの場所で「シェイクアウト行動」や落下物を避ける行動をとる。
 - ⑤ 非常時（地震）があった時の試合でのルールなどを説明する。

【シェイクアウト行動】



試合中に地震が起こったら

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報が発表されたりしたら、以下の手順で自分の身を守る。安全な場所（物が落ちてこない、倒れない）へ移動し、揺れがおさまるまで「シェイクアウト行動」をとる。

【シェイクアウト行動】



*緊急地震速報は最大震度5弱以上を予想した時に、震度4以上を予想した地域に対して発表される
(手段としては、テレビ、ラジオ、携帯電話、スマホなど)

①体育館観客席にいるとき

- ・ガラスが割れたり物が飛び出しそうな場所（例えば音楽室のピアノなど）から離れる
- ・机の下に身を伏せ、頭を覆い、机の脚につかまる
- ・時間に余裕があれば、ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口を確保する

②体育館アリーナ（競技エリア）

- ・アリーナにおいては落下物（水銀灯など）を避け、壁際、ベランダへ移動し、低い姿勢になって持ち物や両手で頭を守る

③体育館の外（試合会場に来るまでの道等）

- ・建物から離れ、揺れがおさまるまで動かない

④エレベーター

- ・揺れを感じたら、すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる
- ・途中で停止した場合や扉が開かない場合は、非常ボタンとインターホンで外部に救助を求める
- ・大きな地震の後は余震が続くので、エレベーターの使用は避ける

